

公表

## 事業所における自己評価結果

| 事業所名    |        | KID ACADEMY 灘BBプラザ校   |     | 公表日     |  | 2025年 1月 4日  |  |  |
|---------|--------|---|-----|---------|--|--|--|--|
|         | チェック項目 | はい  | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点  |  |  |  |
| 環境・体制整備 | 1      | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。  | 6   | 2       | 新環境の教具棚のディスプレイの仕方。机や教具棚の距離感、子どもたちの動線を考えながら配置している。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>建物全体に暖房がしっかり効いているため事業所室内の気温が上がりやすいです。お子様の表情や体温、集中度に合わせて適宜空調を調整しながら、快適な状態で活動に取り組めるようにしています。</li> <li>湿度が低いため、加湿器を設置しました。</li> <li>新しい環境設定に対応するために教具棚を追加しました。それにより、前より少し手狭になりました。</li> </ul> 棚の位置が同じだと、16時台から行う既存のカリキュラム内で実施される体を動かしたりといった活動は難しくなることが想定されたため、カリキュラムの内容に合わせてその時間帯には棚を移動してスペースを広く使えるようにしています。 |  |  |
|         | 2      | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。   | 6   | 2       | 11月から新しい職員が入ったため、さらに複数の目でお子様を支援することができている。職員欠勤時、他事業所から人員配置数を満たす協力をいただいている。また当事業所からも、他事業所に人員配置数が満たし安全に支援できるよう協力している。      | <ul style="list-style-type: none"> <li>新環境の活動で提供のタイミングが重なると、スタッフの手が足りないと感じていました。その状況を踏まえてミーティングを行い、「今は一緒にできないんだけど、このあと戻ってくるから一緒にしようね」等と伝え、その都度スタッフ間の連携のもと教室全体の安全管理を行いながら、お子様の発達に合わせた活動が提供できるよう環境を整えています。</li> <li>土曜日に出勤できる人が少ない日があります。安全に支援を継続できるよう、休み希望を調整、相談することで安定した環境を提供できるよう引き続きスタッフ全員で協力していきたいと考えています。</li> </ul>                         |  |  |
|         | 3      | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 8   | 0       | 玄関ゲートの徹底で安全を確保できている。新環境導入のタイミングで教材や棚の配置が変更され、自由に触っていい棚と、そうでない棚が明確になったのでお子様に伝えるルールが分かりやすくなった。狭いながらも利用者のスペースと事務スペースを分けている。 |  |  |  |
|         | 4      | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。                                 | 7   | 1       | スタッフの人数確保が安全につながる。活動スペースも分かれており、個別活動と集団活動の時間がどちらもある。   | エアコンなど定期的に掃除できていない現状があります。建物天井に埋め込み式のエアコンの為スタッフによる掃除が難しく、上司に相談しながら業者さん対応に繋がるようにしています。  |  |  |
|         | 5      | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。  | 4   | 4       | お着替えをする際は、活動スペースからは見えない事務所にて行っている。   | 現状、別の部屋は無いレイアウトになっています。お子様のお着替えが必要なタイミングの時は、事務所に移動し、着替えています。事務所は教具の備品や書類管理も行っているため手狭であるのが現状です。日々物の片付けや整理整頓を行いながらスペースを有効活用できるようスタッフで声をかけあっています。   |  |  |
| 業務改善    | 6      | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                       | 8   | 0       |  |  |  |  |
|         | 7      | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                  | 8   | 0       | 朝礼や連絡報告で共有している。評価だけでなく、日頃から保護者の方の共有意見を共有できる環境である   |  |  |  |
|         | 8      | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。  | 8   | 0       | 見交換をととても大切にできていると思う。毎朝の朝礼で、支援や環境を振り返り、状況に合わせてその内容を改善している。  |  |  |  |

|          |    |  |   |   |   |  |
|----------|----|--|---|---|---|--|
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 4 | 3 |   |  |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 8 | 0 | シフトの都合上、オンタイムでの参加が難しい時は、アーカイブで見る時間をもらえる<br>毎月カリキュラム研修が行われている。   |  |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 7 | 1 |   |  |
|          | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。   | 8 | 0 |   |  |
|          | 13 | 児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。  | 8 | 0 | スタッフで行ったアセスメント・モニタリングを基に、支援計画が作成されている。  |  |
|          | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 8 | 0 | 支援計画はいつでも手に取って確認できる場所に保管されている。  |  |
|          | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 7 | 1 |   |  |
|          | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 8 | 0 |   |  |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 8 | 0 | その時出勤のメンバーで話し合っている。<br>カリキュラムを担当する職員がメインで考えながらも、朝礼時の引き継ぎや、他スタッフとの会話を踏まえて、その時に最善のプログラムを考えている。  |  |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 8 | 0 |   |  |
|          | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。  | 8 | 0 | 新環境での活動を取り入れることで、個別の活動と集団の活動両方取り組む時間が作られている。<br>個別支援計画や専門的支援計画書に基づいて支援を行うことがベースだが、その日のお子様のコンディションによってスキンシップやディスカッションメインの支援に切り替え、その時間を通してお子様が楽しかった、また〇〇先生に会いたいなど思ってもらえるような関わりを大切にしている。心が安定した状態で過ごすことで、自発的に活動に参加でき、子どもたちを自立へ導くことに繋がると感じる。 | 新環境の活動を取り入れた当初は、既存カリキュラム・新環境の活動時間・フリータイムという明確な時間がない日がありました。お子様からのお話にじっくり向き合っていたけれど、そうできない時がありました。その分、自分の気持ちの落とし所が上手くいかず、既存カリキュラムの活動に向かうことが難しくなっている印象がありました。お子様の発達課題に合わせた個別カリキュラムや集団カリキュラムの時間配分が難しく、お子様1人1人にあった支援を試行錯誤する時期がありました。上記についてスタッフでミーティングを重ねながら、専門的支援計画の見直し、利用時間中の時間配分の見直し、フリータイム時間の調整等、発達や日々のコンディションに合わせて環境を用意させていただくことで子どもたちそれぞれが環境に適應していけるように支援していく体制づくりを行っています。それにより、自分自身で一人で教具を扱えるようになったり、自立を促すきっかけになったり、運動の調整、集中力・注意力の向上を伸ばしていけるよう、ねらいを持って環境を整えています。 |
|          | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。  | 8 | 0 | 毎朝朝礼で担当を決めている。<br>朝礼での引継ぎがとても大切で、カリキュラム構成にも役立つ。前日までの成長する姿や課題感も共有することでチーム支援に繋がっている。  |  |

|              |    |  |   |   |  |  |
|--------------|----|--|---|---|--|--|
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。   | 7 | 1 | 基本的には、次の日の朝礼時に行なっている。環境の変更や支援の見直しが必要の場合は、その日中に行うこともある。                             |  |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。   | 8 | 0 | 日報に記入してみんなで共有出来る   |  |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。  | 8 | 0 |  |  |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。   | 6 | 1 |  |  |
|              | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。   | 8 | 0 |  |  |
|              | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 8 | 0 |  |  |
|              | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。   | 7 | 1 | 必要に応じてサポートブックの作成をしている。<br>年長児さんの保護者の方にはサポートブックの作成打診を行い、小学校に向けてスムーズに移行できるよう情報共有を行う。 |  |
|              | 28 | (28～30は、センターのみ回答)<br>地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。                            |   |   |  |  |
|              | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。   |   |   |  |  |
|              | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。  |   |   |  |  |
|              | 31 | (31は、事業所のみ回答)<br>地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。                                      |   |   |  |  |
|              | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。  | 8 | 0 | 保育園訪問を行っている。   |  |
|              | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。   | 8 | 0 |  |  |
|              | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。                               | 7 | 1 | 支援計画更新のタイミング以外でも必要に応じて電話面談や個別面談の機会を設定し、保護者の方が抱える課題に寄り添いながら事業所ができる事をお伝えしている。        |  |
|              | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 7 | 1 | 茶話会を開催している。<br>契約時にお伝えしている。支援プログラムは面談時と日々のご利用ごとにお伝えしている。                           |  |
|              | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。                             | 7 | 1 | 事前聞き取りとして口頭での聞き取り、書面でのヒアリングシートを活用している。   |  |

|          |  |  |   |   |   |  |
|----------|--|--|---|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 37   | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。   | 8 | 0 |   |  |
|          | 38   | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。   | 8 | 0 | 児発管が聞き取りをしている。<br>支援計画更新のタイミング以外でも必要に応じて電話面談や個別面談の機会を設定し、保護者の方が抱える課題に寄り添いながら事業所ができる事をお伝えしている。 |  |
|          | 39   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 8 | 0 | 茶話会を開催している。   |  |
|          | 40   | こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。             | 8 | 0 |   |  |
|          | 41   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 8 | 0 | 茶話会を実施している。   |  |
|          | 42   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 8 | 0 |   |  |
|          | 43   | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 8 | 0 |   |  |
|          | 44   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 1 | 6 |   |  |
| 非常時等の対応  | 45   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 8 | 0 | オンライン研修が充実している。   |  |
|          | 46   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 8 | 0 |   |  |
|          | 47   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 7 | 1 |   |  |
|          | 48   | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 7 | 1 | 該当者なし   |  |
|          | 49   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 8 | 0 | オンライン研修等が充実している。  |  |
|          | 50   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 8 | 0 |   |  |
|          | 51   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 8 | 0 | スタッフ間でミーティングを行い、対策を考えている。   |  |
|          | 52   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 8 | 0 |   |  |
| 53       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 8  | 0 |   |   |  |